

令和4年第3回小規模多機能型居宅介護事業所

「紙ふうせん」運営推進会議議事録

日 時：令和4年8月25日（木）10：30～11：30

場 所：野栄福祉センター 1階和室

出席者：大木公正 伊藤良一 大木健守 伊野喜代司 及川大樹 太田奈津栄

市高齢者支援課 宮崎

〔 社協 渡辺副会長 熱田
紙ふうせん 佐藤 〕

●開会のことば 渡辺副会長

●委員長あいさつ

●議題

（1）令和4年度6月・7月運営状況及び利用実績の報告について

委員長：以上報告がありました。何か質問はあるか。

委員長：紙ふうせんでのコロナ感染の状況はどうか。

佐 藤：今月に入って利用者2名・職員2名の感染者が出ているが、いずれも家庭内感染や市中感染で症状も軽症となっている。紙ふうせんでも感染者が発生したことで、コロナ感染が心配で利用を控えた利用者が3名、うち1名は今日から利用再開している。

伊 藤：100歳体操に参加すると、その都度体温を測るので、自分でも毎日体温を測ることが習慣になり苦ではなくなった。

宮 崎：6月に泊りの利用者が1名いるがどのような理由か。

佐 藤：主介護者が急に入院したため利用となっています。

及 川：収穫の時期なので新米を提供してはどうか。

佐 藤：今週から新米を提供している。新米というとみんな美味しく感じるようである。

太 田：いろいろなものが値上がりしているので食材費など大変ではないか。

佐 藤：今現在は値上げの予定はなく、据え置きとなっている。

大 木：今年は大変暑かったが、暑さ対策、熱中症対策はどのように行っているのか。

佐 藤：フロアのエアコンは業務用が2台あり、2年前に1台新しくしたので室温は過ごしやすく保たれている。直接風が当たると寒がる人もいるので、吹き出

し口に布を張って風が直接当たらないように工夫している。

熱中症対策としてはこまめに水分補給をしてもらっている。独居の利用者には訪問時にも水分補給や体調確認をしている。

委員長：外出は全員参加ではないのか。

佐 藤：行きたい方は行って、行きたくない方は施設でゆっくりしてもらっている。

大 木：車いす用の車両はあるのか。他の施設の送迎車を見かけるが、運転が荒く、踏切前で一時停止をしなかったりしている。人を乗せているので注意した方がいい。

及 川：紙ふうせんではそういうことはないと思うが、細い農道を歩いていると福祉関係の車がスピードを落とさないですれ違っていくことがある。マナーが悪い。

佐 藤：車いす用の車両はあるが、今は車いすの利用者がいないので使っていない。運転には職員は気を付けているが、時間がない時など焦ってしまうこともある。

委員長：運転マナーを守って安全に配慮してほしい。

及 川：紙ふうせん新聞は発行しないのか。あと、リーフレットの利用金額の訂正をしようと言っていたがどうなっているのか。リーフレットをもらえれば該当しそうな人に渡すことができる。

佐 藤：紙ふうせん新聞は担当者がおらず、継続できていない。リーフレットの金額訂正も進んではない。

委員長：支援課から何かあるか。

宮 崎：認知症サポーター養成講座を開催するので、ぜひ参加してほしい。

委員長：なるべく協力してもらいたい。

大 木：民生委員から、よそで民生委員を名乗って個人情報を引き出そうとした事例があった。独居の方には注意を促してほしい。

太 田：福祉施設の職員と言って日中独居の家に上がり込んで、間取りを見たり引き出しを開けたりされたという話を聞いた。いろいろな犯罪があるので注意してほしい。

●閉会のことば 渡辺副会長